

キ ャ ラ リ ー

みんなの芸術館



村瀬真治「流水のロマン」



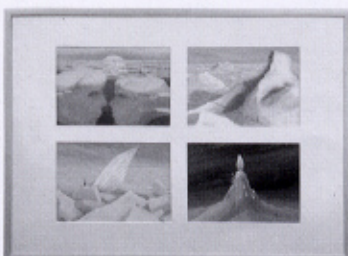
奈良昌美「旭光」



玉谷章「流水観音・来」



桂本秀雄「知床と流水」



越野由紀則「ノスタルジー」



納次直「流水の川」

芸術家10人が競演「流水を描く」市立博物館で

市内や道内の10人の芸術家たちが流水をモチーフにした絵画15点を集めた企画展「流水を描く」が、このほど市立博物館で開かれました。10人の個性あふれる作品群が、訪れる人たちの目を楽しませました。

市内からは故村瀬真治さん、故玉谷章さんをはじめ、紋別美術協会の会員らが作品を寄せました。

玉谷さんの作品は、流水に佇む観音様を描いた3部作。「来」「滞」「離」と名付けられ、流水が到来してから去るまでを荘厳に表現しています。普段は上渚滑と興部町沙留の寺に所蔵されているため、3点を同時に鑑賞できる貴重な機会になりました。

広報 オホーツク もんべつ 2007.6 第635号

■発行：紋別市長 宮川 良一

■編集：総務部企画調整課公聴広報係

〒094-8707紋別市幸町2丁目1番18号

☎ 0158-24-2111番 内線218番

FAX 0158-24-6925番

■市長へのEメール：shichou@city.mombetsu.lg.jp

■市長へのFAX：0158-24-6411番

■平成19年6月1日発行

■印刷：株式会社 北海民友新聞社



1月に沖縄から始まる日本列島の桜前線が北上。紋別には今年、5月15日に到着しました。紋別測候所によると、平年より3日遅いものの、昨年より1日早い開花宣言となりました。

本州から道南の函館あたりまでは、花びらの色が薄いピンクで、葉の少ないソメイヨシノが主流ですが、道央以北では花の色が濃く、花と同時期に葉をつけるエゾヤマザクラがほとんど。一部には花が白く樹丈の低いチシマザクラも見られます。

人のうごき 平成19年4月末

■人口………25,995人 ■男…12,314人 ■女…13,681人 ■世帯…12,270世帯
■誕生おめでとう…15人 ■お悔やみ申し上げます…11人

この広報誌は、再生紙を使用しています。